

# 事務事業評価シート2(一般事業)

## 1 基本情報

		事業番号	0350/501510/12/00	事業の種類	4
年度	19	事務事業名	中学校外国人英語指導助手招致事業	作成日	平成21年1月20日
重要度	4	予算事業名	外国人英語指導助手招致事業	担当部課名	学校教育課
政策名			愛着と生きがいを育むまちづくり		
施策名			小・中学校教育	実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒			
	誰(何)を対象として	中学校生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	実施日数	日	191	181	181	190

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.321	0.321	100.0	0.321	100.0	0.321	100.0	
	臨時職員	0.015	0.015	100.0	0.015	100.0	0.015	100.0	
支出内訳	人件費	3,843,976	3,511,439	91.3	3,570,733	101.7	3,502,107	98.1	
	事業費	4,913,290	5,365,975	109.2	5,004,254	93.3	5,773,000	115.4	
	合計	8,757,266	8,877,414	101.4	8,574,987	96.6	9,275,107	108.2	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	28,800	28,800	100.0	28,800	100.0	0	-	
	一般財源	8,728,466	8,848,614	101.4	8,546,187	96.6	9,275,107	108.5	
	合計	8,757,266	8,877,414	101.4	8,574,987	96.6	9,275,107	108.2	

## 4 評価指標

### 【有効性】

指標名1		学校における外国人英語指導助手の勤務日数							
指標説明(式)		外国人英語指導助手の勤務日数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
日	目標	193	190	98.4	190	100.0	190	100.0	
	実績	191	181	94.8	181	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

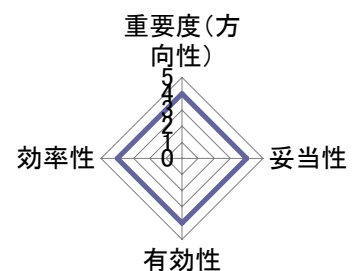
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	中学校での実践的な英語学習を推進し、多様な国際感覚を身に付けた生徒の学習意欲の高揚が図れた。	4	4
	市民ニーズ	中学校での外国人英語指導助手による生の英語学習をととして、生徒の英語力の向上が図れた。		
有効性	成果目標(改善)達成度	毎年実施している標準学力検査(CRT)において、本市中学校生徒の数値が全国平均をかなり上回っており、英語力の向上が確認できた。	4	4
	市民サービス	中学校生徒への効果的な英語指導が実施できた。		
効率性	手段の最適性	外国人英語指導助手による生の英語学習を実施した。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	中学校での外国人英語指導助手による生の英語学習により、生徒の英語力の向上が図れた。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	中学校での外国人指導助手との日常会話など幅広い実践的な英語学習により、生徒の英語力の向上を図る。
H19→H20予算反映額		768,746

(2) 20年度の実施方針

中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。
---------------------------------

検討の有無	-
総合指標	22